

科目名	プレゼンテーション							年度	2024
英語科目名	Presentation Skills							学期	後期
学科・学年	情報処理科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	内田、神谷	教員の実務経験		有	実務経験の職種		Office研修講師		
【科目の目的】									
「論理的かつ感情に訴えかける力」を習得します。ビジネスの場面において、プレゼンテーション力は必要不可欠といっても過言ではありません。「なんとなく理解してもらう」という相手の理解力に頼ったり、以心伝心で通じるはず、というあいまいなコミュニケーションではなく、なぜそうなるのか、またはなぜそうなったのか、という経緯をきちんと整理して簡潔に伝えることができ、自分の意見や提案を支える根拠を示し、発言に説得力を与えることで仕事の成果を挙げる事が出来ます。これは私生活でも大きな力を発揮します。									
【科目の概要】									
現在の社会において、プレゼンテーションは必修スキルです。本講義では、社会人としての必修スキルであるプレゼンテーションとは何かの学習をはじめ、基本的なプレゼンテーションテクニックを学ぶことで、自分の考えを表現力豊かにわかりやすく伝える事が出来るようになります。そのスキルは、就職活動や、インターンシップ、就職後も活用できるため、就職活動や仕事の成果を上げることもできます。									
【到達目標】									
社会人として、自分の考えを相手に、的確にわかりやすく伝える事、また他者の考えを理解し表現する事で、相互の円滑なコミュニケーションが出来る事を目標とします。プレゼンテーションスキルの習得を発表する機会を複数回設けているため、授業を通し、大人数の前で「話す」事に慣れる事も目的です。									
【授業の注意点】									
本講義では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。(詳しくは、最初の授業で説明)授業数の75%以上出席しない者は単位として認定することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	自分の考えを相手に、的確にわかりやすく伝えることができる	自分の考えを整理し表現することができる				自分の考えを相手に、的確にわかりやすく伝えるが出来ない			
到達目標 B	他者の考えを理解し表現することができる	他人の考えを整理し表現することができる				他者の考えを理解し表現することができない			
到達目標 C	相互の円滑なコミュニケーションができる	相互の円滑なコミュニケーションを図るための方法を理解している				相互の円滑なコミュニケーションができない			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
よくわかる 自信がつくプレゼンテーション FOM出版									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する							
成果発表	70%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

